

## 春日市って、案外 子育て先進地区かも!?

「地域での子育ての取組み」アンケートの結果より

昨年4月から完全学校週5日制が始まり、地域が青少年育成にどう関わるかが現実的課題となりました。しかしながら地域の教育力を発揮することは、核家族化や都市化が進展し地域の人間関係や連帯感が希薄になってしまった今日では、そう簡単にできることはありません。事実、昨年4月末調査のアンケートでは、土曜日に「子どもの居場所づくり」として定期的な自主事業が行われていたのは、33地区中わずか2地区でした。しかし、その後「地域の子どもの豊かな成長を図ることは地域の大人の責任」という思いが各地区自治会や公民館役員さんの思いにきっとあったからでしょう・・・、わずか4ヵ月後の8月末には33地区中8地区に、そして、昨年末から今年1月にかけて行ったアンケートでは、なんと15地区に拡大していました。また、土曜日の定期的な取組みは協力者の不足などでまだ難しい地区でも、地区行事や子ども会育成会活動を工夫する中で地域ならではの体験と交流の場を子どもたちに与えていただいています。

では、4月から今日までの各地区の様々な実践から見えてくる「地域ならではの素晴らしい教育力」をピックアップしてご紹介したいと思います!



- ① 地域ならではの伝統行事や文化にふれながら、ふるさとを愛する気持ちや豊かな情緒、文化への憧れや関心が育まれます

松ヶ丘



★「クー」みこしは子どもならではの発想

白水ヶ丘



★新しい地区にも伝統が生まれています

# ふれあい餅つき



12月8日

弥生地区の餅つき大会

12月22日

天神山地区餅つき大会

天神山菜園の採れたて野菜の即売もあり大盛況！！

多くの地区で年末は餅つき大会があり、子どもたちは杵をふりかざしたり、もちを丸めたりします。「もち肌」という言葉はそんな生活体験を通して子どもの中で生きた言葉になります。地域のあたたかい交流の場でもあります。

## 春日「婿押し」



★小学生も樽せりに参加し、地域の伝統を継承します。

## 惣利「平成龍」



★新しい文化が地域の連帯を高めます。

### ② 地域の異年齢集団で遊ぶ中で子どもは育ちます



子どもたちは集団遊びを通してきまりを守ること、我慢すること、社会性、創造性、集中力、体力などを自分の中に育みます。また、小さい子や弱い立場の子への関わり方やおもいやりを身につけていくようです。

← 春日原地区の子どもたち  
毎週、公民館に集まります

### ③ 地域には世代を超えたあたたかいふれあいが生まれます



★平田台 「スポーツ大会」  
大人も子どもも大ハッスル！



★日の出 「いきいきふれあいサロン」  
高齢者と子どもたちが交流





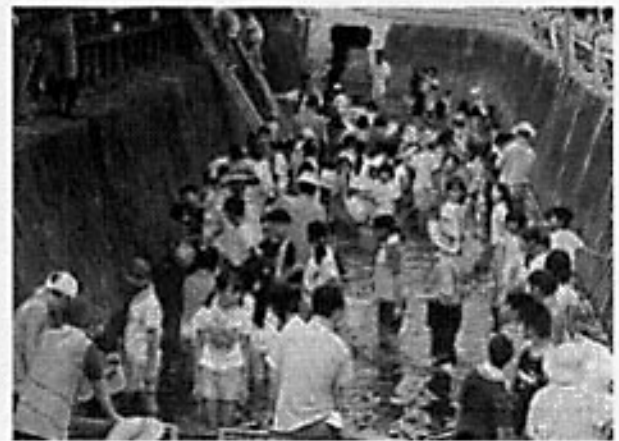
← ちくし台 「ハイキング」



④ 地域の特性を活かした自然体験や奉仕体験



★春日地区 「川祭り」



★桜ヶ丘 「魚捕り大会」

春日地区は牛頸川、桜ヶ丘地区は諸岡川で放流された魚捕りを楽しみます。子どもたちが地域の川で思い切り遊び親しむ1日です。魚捕りの前には地域の方と一緒に川を清掃します。これからも子どもも地域の一員として、地域の奉仕活動にどんどん参加させたいものですね。



★松ヶ丘地区



★天神山地区

松ヶ丘地区、天神山地区では老人会の指導のもとに子どもたちが地域の畑でサツマイモやジャガイモの栽培に取り組みました。畝作り、苗植え、草取り、水やり、失敗や苦労を重ねる中で植物の成長のこと、農家の方の苦労、食べ物への感謝などを実感していきます。だからこそ、収穫の日の喜びは大きく、地域のみなさんといいただくお芋の味は最高です。

⑤ 子ども会育成会もがんばっています！



日の出（左）と春日原南（右）育成会のリーダーキャンプ

子ども会育成会も子どもたちの主体性を育てることをねらいとした活動がんばっています。

昨年夏、日の出と春日原南子ども会育成会は子ども会のリーダー研修としてキャンプを実施しました。



日の出子ども会「ウォークラリー」

その後、日の出地区では子ども会のリーダーたちがキャンプで学んだ事を生かして自分たちで「ウォークラリー」を企画し実行しました。子どもはチャンスを与えれば伸びるのですね。

他の地区でも「エコクラブ」(環境活動)や古紙回収、クリーン作戦等がんばっています。

⑥ 地域は人材の宝庫です

昔遊び(竹馬、コマ回し、凧、折り紙、お手玉など)、囲碁・将棋、料理名人、しめ縄作り、餅つき、習字、絵手紙、大工仕事、本の読み聞かせ、野菜作り、花の栽培、パソコン・・・地域には人生経験豊富な方や生涯学習を楽しんでおられる方がたくさんおられます。



★大和町 「土曜 習字教室」



★若葉台西「ふれあいサロン」

《竹馬》《折り紙》遊びで子どもとのふれあい



★小倉東 「囲碁教室」



★春日公園 「お話し会」



← 天神山地区の老人会のみなさん

天神山菜園で収穫された見事な大根！  
老人会の野菜作りは天神山の地域づくりに大活躍です。

### ⑦ 学校との協働は地域に活力を与えます

学校と地域はそれぞれ異なった教育的役割があり、その充実を図る必要があります。そのうえで、それぞれの教育力が効果を発揮するためには両者がしっかりと関係を築き、教育の協働を行う必要があるようです。

日の出小学校区や天神山小学校区では、定期的に学校と地域住民の会合がもたれ、学校と地域の教育の協働が実践されています。このことにより、学校は地域の教育力を学校教育に生かすことが可能になり教育効果をあげています。地域は世代を超えた地域の連帯感が築かれ、地域活動も活性化されているようです。



★日の出地区と日の出小学校の合同運動会



★春日原小学校児童による春日原地区  
龍神池横プランターの花植え

### ⑧ 学校顔負けの学習プログラムもあります



★白水池公民館では毎週、「土曜あそび塾」が行われています。

この日は正方形の色紙2枚を使って1枚の正方形を作る遊びをしました。2枚ができたなら3枚で……。3枚が一番難しいので5枚で、そうやって枚数を増やし25枚ができたとき、子どもたちはピタゴラスの三平方の定理の発見と証明が自分でできるようになるそうです。



★千歳町公民館では月2回、土曜日の子ども広場を行っています。2月8日は公民館に聴覚障害者2人と手話通訳2人を講師として招き「手話教室」が行われました。

前半、耳が不自由なお二人の先生は、ご自分のにがい経験や子育ての苦労した体験などから「耳が聞こえないことはどういうことなのか」を本当に具体的に子どもたちに伝えてくださいました。私も、わかっているつもりで本当はわかってなかったとぎくりとさせられました。昔は聾学校で手話を使うことが禁じられていたというのも驚きでした。今でも使うことこそ自由ですが、聾学校で手話を教えることはないそうです。なんだか、まだ健常者に合わせることを強いているようで納得できません。互いを認め合うためには相手を知ること、知ろうとすることから始まるのだと思いました。

後半は、手話を教えてもらい、子どもたちはあいさつや自己紹介を一生懸命憶えました。



★聞こえないことをカバーする道具の説明を聞く子どもたち



★「おはよう」「こんにちは」「ありがとう」手話でご挨拶したよ！

⑨ 子育て支援に取り組む地域も増えています

核家族化が進んでいる今日、他市からの流入が多い春日市では、乳幼児をもつお母さんたちが子育ての悩みを相談する人がなくて孤立している状況も少なくありません。

そのような中、若いお母さんたちに公民館を開放したり、子育てサークルを積極的に支援する地域が増えてきました。乳母車で行ける距離というのがありがたいですね。



★小倉東公民館 子育てサークル「どんぐりころころ」

2月5日は春日市健康課から保育士、栄養士保健師さんに来ていただき、「子育て相談」を行いました。



★春日原 子育てサークル「バルーンクラブ」



★下白水南 子育てサークル「モモ」